

2020MFJ 全日本スーパーモト選手権第3戦 名阪スポーツランド参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S1Open クラス#15 薄井保彦

9月20日奈良県名阪スポーツランドで開催されたMFJ全日本スーパーモト選手権に参戦しました。

名阪スポーツランドは特設コースではなくモトクロスコースとサーキットをつないだコースで、ダートの比率が約50%の特殊なレイアウトなコース、正直1番苦手なコースでエントリー台数26台。なんとかポイントを取りたい気持ちで挑みます。

また、SUGOで痛めた手首が完治しておらずスタンディングだとアクセルがちゃんと開けられない状態。サポーターを付けて走ると手首は楽でもさらにアクセルが開けられないのでテーピングとロキソニンでごまかしての走行です。

前日練習はウエットコンディション。3本有る走行枠の午前中2本はダートキャンセルのターマックのみ。3本目にやっとダートが入ります。

雨の影響でダート部分のコンディションが悪く、練習というよりは苦手意識が増した状態で練習を終えてしまいます。

レース当日、朝から雨。

ただ徐々に止み始めてタイムアタックの時にはターマック部分はほぼドライ路面になりました。

タイヤはダートでの走りを優先してレインタイヤ。

ダート頑張りますが上手く走れず22番手タイム。良くない展開です。

約1時間後、ヒートレース。

タイヤ選択は悩みましたが、ダート走り易い様にここでも前後レイン。

かなり後方からヒートレーススタート。

名阪戦はダートコースからスタートする場合とターマックコースからスタートする場合がありますが今回はターマックスタート。1コーナー後にシケインが設けられてその後、連絡通路を上げてダートコースに入ります。スタートで前の選手と横並びになりますが、一気に狭くなるシケインで負けて最後尾になってしまいます。



ダートに入ったところで2台が絡んで転倒。その後ろも詰まってしまう自分も引っかかってしまいましたが、冷静にバイクを下げて復帰。ここで3台抜き、他にも転倒者がいた為21位でゴール。



昼休みを挟み、決勝レース。

手首の痛みはありますがロキソニンでごまかせるレベル。

タイヤはヒートレースを走った感触ではダート部分は何をやっても変わらないと判断して前後スリックタイヤ行くことにします。

グリッドは1つ上がって先程の左側スタートから右側へ。かなり後方なので先ほど見ていたシグナルは他の選手の頭で確認できず、さらに前方のシグナルを見て集中。

スタートのシグナルはレッドが点灯して 5 秒以内に消灯でスタートという流れです。コースマーシャルが退去して周りのエンジン音が高なるもシグナル点灯せず、とっていると全車スタートしてしまいます。何とか一緒にスタートするも最悪なスタートになってしまいました。後で聞くと手前の 1 個しかシグナルは点灯しないそうです。数名同じトラップにかかった選手がいました。



最後尾は免れましたがポイント圏内は遠いポジションでのスタート。気持ちで負けている感じです。

ダートは相変わらず攻めきれずですがターマックは調子よく前の選手をブッシュできます。が、ギリギリ抜けずに周回だけ進み、順位変動も無く 10 週のレースはチェッカーを迎え結果、1 つ順位を上げるもポイント圏内には遠く及ばず 20 位でした。

今回は菅生から時間が有ったにもかかわらず菅生で破損したチェンジロッド交換できたのがレースの 10 日前、怪我もあったので練習もせずに挑んだ結果がもろに出ました。

次戦は 10 月 18 日美浜サーキットでの最終戦。

今シーズン最後のレースなので悔いのない様に調整していきます。